

公共政策プログラム インフラ政策コース

コースの目的

インフラ政策コースは、国の発展、安心して快適に暮らすことができる社会の創造、持続可能な開発にとって重要な役割を果たす社会基盤（インフラストラクチャー：以下、インフラ）に関する専門的な知識を習得し、その諸様相を学際的に理解できる能力を身につけることにより、高度な能力を有するエキスパートかつ産官各分野における将来のリーダーとなる人材を養成することを目的としています。

ディプロマポリシー

インフラ政策コースで、学生が身に着けるべき能力の目標は次の通りです：

- ① インフラに関わる専門的な知識を有し、それに基づいた論理的な思考により、諸課題を分析し、対処できる能力
- ② インフラを取り巻く他分野の広範な知識を有し、それらを踏まえて俯瞰できる能力
- ③ インフラに関わる政策課題について分析し、政策研究としてまとめ、発表できる能力
- ④ 国際的な場において、多様な意見を聞き、また、自らの意見を述べ、議論ができる能力
- ⑤ リーダーシップ、マネジメント能力、社会に発信し推進する能力

カリキュラムポリシー

【コース指定科目】

コース指定科目では、国土政策、都市政策、交通政策を中心に、その基礎となる国土計画、都市計画、交通計画、政策評価、アセットマネジメント、PFI、ロジスティックス、景観設計などについて学び、インフラに関わる専門的な知識を習得します。またこれらに加え、本コースでは、英語による講義、データサイエンスに関する講義の履修を強く推奨しています。

アドミッションポリシー

求める学生像

大学等においてインフラに関する相応の教育を受けたうえで、インフラに関わる政策立案、計画策定、調査分析、建設、管理、研究開発などのいずれかについて一定程度の業務経

験を有し、将来のリーダーとしての資質と意欲のある若手・中堅の人材が望まれます。インフラ政策について学び、それを踏まえた社会実装をするという強い思いと精神力、協調・協働できる能力を有している人が望ましいです。また、入学前には、インフラ全般についての一定程度の知識を有し、英語での会話および読解・作文能力があることが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。面接では、政策課題についての理解、目的意識、対話力、自己アピール力などを総合的に判断して選考します